

ぼしん戦争

6116SR

慶応年4年、朝ていから幕府をうつ命令がでて、新政府軍はぞくぞくと東に進んだ。そして、4月にはついに将軍徳川よしのぶは江戸城をあけわたした。

300年もつづいた長い幕府政治は終わりをつげ、古いものはくずれさって新しいじたいへと世の中は大きく変わろうとしていた。

その後、悲さんな戦をさけようとする、会津蕃をはじめ、東北各はんの連合の願いも聞きいれらず、やがて新政府軍は会津にむかった。



修学旅行のまとめ

ぼくは、ぼしん戦争についてまとめることができました。ぼしん戦争は、戦いがすごく激しくて、こわい気持ちになりました。白虎隊が、19人も自じんしてなくなったので、悲しいと思いました。

ぼくは日本の歴史に興味があるのでもっと歴史を学びたいです。